

石岡市総合計画第2期基本計画（案）に対するパブリックコメント結果

実施時期：令和5年12月25日（月）～令和6年1月14日（日）
 募集方法：応募フォーム・メール・FAX・各窓口持参
 意見数：6名 32項目（応募フォーム2名・メール3名・窓口持参1名）

【意見区分】
 ア 計画案に意見を反映するもの
 イ 意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
 ウ 今後の施策展開の参考とするもの

No.	大項目 (政策目標等)	中項目 (基本施策等)	内容(要約)	意見区分	回答	第2期基本計画(旧)	第2期基本計画への反映(新) (赤字は計画上の修正内容)
1	計画全体に対する意見	-	各目標は、あるべき姿と現状のギャップを明確にして設定する。また、他自治体との比較を実施し、石岡市の強みを強化・弱みの改善として明確に定義する。	イ	各基本施策では、基本構想の計画期間（R4～R13）を見据えて、あるべき将来の姿を設定しています。また、「現状・これまでの取組」では、今回の計画策定時点での状況の整理を行いました。現状を整理しつつ、あるべき将来の姿に近づくための成果指標を設定しております。毎年の効果検証を行うことで、引き続き現状把握を行い、各事務事業での取組を推進します。 また、それぞれの事務事業に対しては「事務事業評価」を実施しております。それぞれの取組に対して、強みを活かし、弱みを改善するための検証を行い、事業の成果や今後の方向性を明らかにします。		
2	計画全体に対する意見	-	更に多くの予算を付けている政策・取組は、石岡市の強みとしてPRし、人口減少対策に関連付けるべきである。	ア	毎年度の予算に紐づき、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけています。第2期基本計画においても、引き続き、リーディングプロジェクトを定め、取組を進めるところです。 喫緊の課題である人口減少対策に関しては、本年度、庁内のプロジェクトチーム等でも検討を進めました。ご意見を踏まえて、特に人口減少対策に関してもリーディングプロジェクトとして位置づけ、本市が注力する取組を明らかにいたします。	P9～P10 リーディングプロジェクト	P9～P10 リーディングプロジェクト 総合計画をより実効性の高いものとするために、第2期基本計画の計画期間において、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけます。4つの分野「輝く魅力向上」「輝くまち」「輝くひと」「輝く暮らし」及び全体を下支えする政策目標「チャレンジする市役所」ごとに、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけ、迅速かつ効果的に取り組みます。
3	計画全体に対する意見	-	SDGs共通テーマの中でも書かれている人口減少・少子高齢化・関係人口増加の施策は重要である。 また、P229からの地方創生石岡市総合戦略は、地域の人口ビジョンの実現に向けた位置づけであるため、趣旨として人口ビジョンに触れる必要があるのではないか。	ア	人口ビジョンについては、令和2年3月に改訂をしており、2060年までに人口60,000人を維持することを目標としております。総合戦略の各取組の大前提として、地方創生、人口減少対策が掲げられていることから、ご意見を踏まえて、本市の人口ビジョンを、総合戦略内に改めて位置づけます。	P230～ 1「地方創生 石岡市総合戦略」とは (1) 総合戦略の趣旨・位置づけ (2) 地域ビジョン（目指すべき理想像） (3) 総合戦略の期間 (4) 総合戦略の運用	P230～ 1「地方創生 石岡市総合戦略」とは (1) 総合戦略の趣旨・位置づけ (2) 人口ビジョン (3) 地域ビジョン（目指すべき理想像） (4) 総合戦略の期間 (5) 総合戦略の運用
4	各論	本市の状況 (人口の将来推計)	昨年12月に国立社会保障・人口問題研究所から石岡市からの人口推計が公開されており、2050年で49,199人になるとの推計である。図で示されている将来推計と差があるので修正が必要ではないか。	ア	時点修正をいたします。		P6 令和5年度社人研推計に基づき、グラフを差替え
5	計画全体に対する意見	-	一般的に累計の記載があるものがあるが、いつからいつまでの累計なのか分かりにくい。	ア	累計としている指標に関しては、原則として、事業開始時点からの累計を示しています。説明について、P12～P13のページ構成に記載いたします。		P13 ページ構成 「主要な取組における参考指標」の説明に以下の文言を追加。 「累計による数値は、原則として、事業開始時点からの積み上げとなっています」

No.	大項目 (政策目標等)	中項目 (基本施策等)	内容(要約)	意見区分	回答	第2期基本計画(旧)	第2期基本計画への反映(新) (赤字は計画上の修正内容)
6	計画全体に対する意見	-	市民へのアンケートだけではまちづくりは不十分である。	イ	令和3年度には、現在の総合計画である「石岡市総合計画(基本構想・基本計画)」の策定のため、市民意識調査の他、子育て世代や事業者等へのアンケートや幅広い層の市民を対象としたワークショップ、オンラインによる対話の場の創出等を実施しております。引き続き、市民の皆様からのご意見をいただきながら、各取組を進めるとともに、新たな形での意見聴取等も検討を進めてまいります。		
7	情報発信	シティプロモーションの推進	石岡市のブランドメッセージ「あなたの〇〇のあるまちいしおか」がある。これを活かした表現があるとよいのではないか。	ア	ブランドメッセージとロゴマークを活用した取組により、シティプロモーションの推進、シビックプライドの醸成を図っています。本市では、毎年度の予算に紐づき、各分野の施策展開をリードする事業を「リーディングプロジェクト」として位置づけています。ブランドメッセージによる情報発信にも寄与するよう、リーディングプロジェクトを効果的に活用してまいります。		P9~P10 リーディングプロジェクト 各プロジェクトにブランドメッセージを追記 ・人口減少対策プロジェクト「あなたの希望があるまちいしおか」 ・魅力向上プロジェクト「あなたの推しがあるまちいしおか」 ・まちプロジェクト「あなたの安心があるまちいしおか」 ・ひとプロジェクト「あなたの生きがいがあるまちいしおか」 ・暮らしプロジェクト「あなたの活躍があるまちいしおか」 ※チャレンジする市役所プロジェクトについては、行財政改革大綱であることを踏まえ、ブランドメッセージは記載せず。
8	情報発信	シティプロモーションの推進	情報発信として、公式Instagramもある。同じ情報発信手段として、目標設定などの整理は必要ないか。	ア	公式Instagramも、本市の情報発信の一翼を担っています。シティプロモーションの推進において、現状等に追記いたします。あわせて、参考指標としてInstagramのフォロワー数を目標設定いたします。	P16 現状・これまでの取組 本市では、ホームページや広報紙、メールマガジンによる情報発信のほか、X(旧Twitter)やFacebook、LINEなどのSNSによる情報発信も実施しています。 P17 課題 情報発信の一環として、石岡市公式X(旧Twitter)やFacebook、LINE、Instagramを活用していますが・・・	P16 現状・これまでの取組 本市では、ホームページや広報紙、メールマガジンによる情報発信のほか、X(旧Twitter)やFacebook、LINE、InstagramなどのSNSによる情報発信も実施しています。 P17 課題 情報発信の一環として、石岡市公式X(旧Twitter)やFacebook、LINE、Instagramを活用していますが・・・ P18 参考指標 公式Instagramのフォロワー数追加。 基準値：R5 1,353人(R6.1.1時点) 目標値：R9 3,000人
9	安全・安心	防災機能の整備・強化 防災危機管理の充実 防犯対策の充実 他	安心・安全に直結する種々政策の加速が必要である。 防犯灯設置・防犯カメラ設置・カーブミラー設置・傾斜地対策・水害対策・空家対策等のあるべき姿と現状のギャップを明確にし、3年間で100%実施を目指すべきである。	イ	政策目標とは別に、総合計画の基本理念において、安全・安心を位置づけています。基本理念を踏まえて、市民の安全・安心に資するよう、引き続き取組を進めるとともに、毎年の成果効果の検証を十分に行い、必要な改善等を行うことで、それぞれの目標達成を目指します。		
10	都市基盤・環境	公園・緑地・自然環境の維持整備	八郷地区にはこれまで公園がなかったが、新たに八郷総合支所にさとのひろばができています。また、子育て世帯は雨天時にも遊具等で遊ぶことができる施設を求めている。	ア	ご意見を踏まえて、さとのひろばに関して、現状での整理を行います。また、屋内遊具施設等については、ご意見としていただき、今後の施策展開の参考とさせていただきます。		P98 現状・これまでの取組 令和4年度には、八郷総合支所の敷地内に、「さとのひろば」を整備しました。芝生広場や遊具などの設置により、子どもと楽しめる広場となっています。
11	健康・福祉	地域医療の充実	産婦人科開設は、令和13年目標は遅すぎる。かすみがうら市では令和4年就任の市長が1年で目途を付けている。	イ	本市では出来る限り早く産科医療施設の開設を実現させるため、令和5年度当初に1億円の産科医療施設開設支援基金を創設しました。産科医療施設の早期開設が実現できるよう、引き続き3市で協議を行ってまいります。		

No.	大項目 (政策目標等)	中項目 (基本施策等)	内容(要約)	意見区分	回答	第2期基本計画(旧)	第2期基本計画への反映(新) (赤字は計画上の修正内容)
12	子育て・教育・学び	学校教育環境の整備・充実	成果指標を「複式学級の解消」としているが、そのメリットとデメリットの検証過程が示されておらず、なぜこれを成果指標とするのかわからない。	ア	<p>複式学級の解消などについては、石岡市小中学校統合再編計画において整理しております。具体的には、文部科学省が定める公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きなどにより、メリットやデメリットの検討をしつつ、茨城県としての方針等も踏まえ、本市の方向性として、多様な学習活動や集団活動の展開などにより、教育環境を向上させていくため、複式学級の解消を図ることを目的としております。</p> <p>これらの成果を図る為の指標として、「小学校の複式学級数」を設定しておりますが、ご意見を踏まえて、複式学級の解消を目指している理由を現状・これまでの取組に整理させていただきます。</p>	P158 現状・これまでの取組 市内の小・中学校は、少子化等により児童生徒数が年々減少していますが、依然として残っている状況です。現在、複式学級の解消とよりよい教育環境の整備を目指して学校の統廃合を進めています。	P158 現状・これまでの取組 市内の小・中学校は、少子化等により児童生徒数が年々減少しています。 現在、本市では、多様な学習活動や集団活動の展開を図るため、複式学級の解消とよりよい教育環境の整備を目指して学校の統廃合を進めています。 小学校においては、令和6年4月の統合により4校で複式学級が解消しますが、依然として残っている状況です。 が、依然として複式学級が残っている状況です。現在、複式学級の解消とよりよい教育環境の整備を目指して学校の統廃合を進めています。
13	子育て・教育・学び	学校教育環境の整備・充実	「適正規模」とあるが、石岡市が考える適正な規模とは1クラスあるいは1学年何人なのか。	ウ	<p>適正規模の考え方については、石岡市小中学校統合再編計画において、小学校においては、クラス替えが可能な各学年2学級以上となる12学級以上(各クラス35名)が望ましい(複式学級の解消を図る)、中学校においては、クラス替えが可能で、すべての強化の担任が配置できる各学年2学級以上となる6学級以上(各クラス35名)が望ましいとしています。</p>		
14	子育て・教育・学び	学校教育環境の整備・充実	<p>計画では複式学級が良くないものとして設定されているが、同じ茨城県内で、あえて複式学級を設定している市立学校は多数あり(小規模特認校)、その成果も弊害もそこから同等に学ぶべき。</p> <p>逆に統合した学校の例も近隣市町村に多数存在するので、彼らの例から近い未来を具体的に想像することができる。良かった点と良くなかった点、地域に及ぼした影響はどうか？</p> <p>双方の例から学び、成果指標を設定し直すべきと考える。</p>	イ	<p>小規模な学校においては、創意工夫をしながら子どもたちへの教育に取り組むなど、小規模校ならではのメリットもあるものの、本市においては、多様な学習活動や集団活動の展開を図る為、複式学級の解消を優先し、学校の適正な規模、再配置について計画しています。</p> <p>関連法令や茨城県としての方向性を踏まえつつ、本市の状況に則した方針としていますが、取組を進めるにあたっては、県内市町村等の事例なども十分に踏まえて、分析や検討進めてまいります。</p>		

No.	大項目 (政策目標等)	中項目 (基本施策等)	内容(要約)	意見区分	回答	第2期基本計画(旧)	第2期基本計画への反映(新) (赤字は計画上の修正内容)
15	子育て・教育・学び	学校教育環境の整備・充実	<p>参考指標「教職員の時間外勤務」の目標値が35時間に設定されている。令和4年度の実績値が34時間であるにも関わらず、なぜ目標値を35時間に据え置いているのか。</p> <p>部活動の地域移行や働き方改革を推進すると謳っておきながら、30時間以上の残業ありきで取り組むというのは、本気度が問われると考える。</p> <p>教師が残業を前提とせず働ける学校づくりを目指していただきたい。</p>	ア	<p>教職員の時間外勤務に関しては、各学校の状況を踏まえて、全ての小中学校で月35時間以下という目標を設定しています。一方でご指摘のとおり、部活動の地域移行や働き方改革を推進していくにあたり、今後も引き続き、教職員の時間外勤務については検討を続ける必要があります。</p> <p>ご意見としていただいた点につきましては、毎年度の成果効果の検証を十分に行い、必要な改革等を実施することで、今後の教職員の働き方改革を推進してまいります。</p> <p>参考指標の記載に関しては、教職員の時間外勤務の年間の平均が月35時間以内の学校数の割合と修正させていただきます。</p>	<p>P159 参考指標 教職員の時間外勤務 ・教職員の時間外勤務の比較(月間) 基準値：R2 45時間 実績値：R4 34.32時間 目標値：R9 35時間</p>	<p>P159 参考指標 教職員の時間外勤務 ・教職員の時間外勤務の平均が月35時間以内の学校数の割合 基準値：R3 64% 実績値：R4 64% 目標値：R9 100%</p>
16	子育て・教育・学び	生涯学習の推進	<p>歴史の里いしおか市民講師の記載があるが、令和5年1月時点となっているため、時点修正が必要ではないか。</p>	ア	<p>最新の数値に修正させていただきます。</p>		
17	産業・経済他	農業の振興他	<p>当市には企業が少なく、商業・農業により発展した町である。開発の遅れにより、空家・耕作放棄地が多発している。近郊の市町村との格差がみられる。</p>	イ	<p>空家対策や耕作放棄地対策は、基本計画でも位置づけているように、重要な課題であります。管理不全になる建物になることを抑制することや、空家バンク制度の活用、特定空家等に対する指導などにより、対策を進めます。</p> <p>また、耕作放棄地の解消に向けて、農業の担い手の確保・育成や農地利用の最適化により、引き続き取組を実施いたします。</p>		
18	産業・経済	農業の振興	<p>地域農業の活性化のため、農地法の改正・食料安全保障対策として、県の指導を受け、レスキングを展開し、職員のやる気を引き出していきたい。</p>	ウ	<p>ご意見としていただき、今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>		
19	産業・経済	農業の振興	<p>農業公社・農業営農の成功例の研修会等(国・県の指導機関との連携)を実施していただきたい。</p>	イ	<p>今後とも引き続き、関係機関等と連携を図りながら、農業振興を図ってまいります。</p>		
20	産業・経済	農業の振興	<p>食料安保の一環として、畑作農業の促進のため、肥料工場を設置した化料の節減に取り組んでいただきたい。また、地域工場のため国内生産の少ない小麦等の生産にあたっていただきたい。</p>	ウ	<p>ご意見として、今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>		
21	産業・経済	農業の振興	<p>農業地帯にも関わらず対策が遅れている。特に農協の合併に関することや、農業補助金獲得に対する職員の指導力不足により、農家に影響が出ている。</p> <p>農業は国の補助金により成り立っていることを理解し、補助金獲得に向けて、関係機関等とも調整を行うなど努力していただきたい。</p>	イ	<p>財源の確保は、各取組を推進していくにあたり、非常に重要な課題であると認識しております。ご意見を踏まえて、引き続き、財源確保に取り組んでまいります。</p>		

No.	大項目 (政策目標等)	中項目 (基本施策等)	内容(要約)	意見区分	回答	第2期基本計画(旧)	第2期基本計画への反映(新) (赤字は計画上の修正内容)
22	産業・経済	農業の振興	耕作放棄地の対策として、農業委員のみではなく、関心のある市民による対策検討会を実施し、広く意見を聞く必要がある。	ウ	引き続き耕作放棄地対策を進めるとともに、今後の意見聴取や取組の検討に当たって、いただいたご意見を参考とさせていただきます。		
23	産業・経済	農業の振興	有機農業を志す新規就農者の研修施設推して、朝日里山ファームや、ゆめファームが挙げられているが「やさと菜苑株式会社」も新規就農者の受け入れをしており、記載すべきではないか。	ア	ご意見を踏まえて、本市における新規就農者の受入れ体制として、改めて現状の整理をさせていただきます。	P181 現状・これまでの取組 有機農業を志す新規就農者の研修施設として、市が運営する「朝日里山ファーム」、JAやさとが運営する「ゆめファーム」があり、有機農業者は毎年増加しています。また、研修生は市外、県外の出身者が多く、外部からの流入による氏の人口増加にも寄与しています。	P181 現状・これまでの取組 有機農業を志す新規就農者の研修施設として、市が運営する「朝日里山ファーム」、JAやさとが運営する「ゆめファーム」があり、有機農業者は毎年増加しています。また、 やさと菜苑株式会社が運営する慣行栽培等の農業者も含めて 、研修生は市外、県外の出身者が多く、外部からの流入による氏の人口増加にも寄与しています。
24	チャレンジする市役所	組織・人材マネジメント 経営・財務マネジメント	本計画を推進する為には、予算の確保と担当職員の確保が必要条件である。 ・自主財源の拡大に向けて、ふるさと納税の拡大・全委託業務費用の最適化。 ・ルーティン業務の効率化に向けて、DXを加速させ、職員へのRPA等の教育を行う。 これらを推進しながら市民が望んでいる「地域医療の充実」や「安心・安全のまちづくり」を最優先とした政策・取組推進が必要である。	イ	自主財源の確保に向けた一つ的手段としてふるさと納税の取組を実施しており、P214の参考指標にもあるように、ふるさと納税額の目標値を3億円と設定しています。申し込みサイトを増やすなど、ふるさと納税の拡大を図ってまいります。 また、BPRの手法を用いて業務手順の見直しを行い、業務効率化を進めます。各職員に対して研修等を実施するなど、必要な対策を実施いたします。		
25	チャレンジする市役所	組織・人材マネジメント 経営・財務マネジメント	総合計画成功の為に、市長・副市長をはじめとした市政トップマネジメント層の強い意志とリーダーシップの発揮を期待したい。	イ	組織・人材マネジメントは、すべての施策を推進するために重要な行財政改革の一つとして位置づけています。マネジメント環境の充実を図るとともに、一丸となって総合計画の実現を目指します。		
26	チャレンジする市役所	組織・人材マネジメント	市役所職員の中途退職者が年々増加傾向にある。	イ	高度化・多様化する行政サービスへの需要に対応するため、組織・人材マネジメントを行財政改革の2大テーマの一つとして重点的に取り組んでいます。ご意見を踏まえ、職員が働きやすい環境づくりに引き続き取り組んでまいります。		
27	チャレンジする市役所	開かれた市政の実現	議会と執行部の協力体制を強化していくことが重要である。	イ	ご意見を踏まえて、議会と執行部がそれぞれの役割のもと、市政発展に向けて、取組を進めてまいります。		
28	チャレンジする市役所	経営・財務マネジメント	「チャレンジする石岡市役所」では、これまでを踏襲して繰り返すだけでは今の時代にそぐわなくなっており、先の見えない未来に対して、挑戦なしには未来がないという認識に同意する。 新たな挑戦をするときに、どうやって過去の取り組みを精算し、新たな価値を見出すか、必然的に自発的に動く市民との協働が必要になってくる。そのようなシチズンシップをどうやって育てていくかについて大きな興味と期待がある。	イ	チャレンジする市役所では、組織・人材マネジメントと経営・財務マネジメントを2大テーマとして掲げ、ご行財政改革を進めています。本市の将来像や現在の社会情勢を見据えて、市民等との協働や、基本理念でも掲げている対話によるまちづくりにより、様々な挑戦をしております。		

No.	大項目 (政策目標等)	中項目 (基本施策等)	内容(要約)	意見区分	回答	第2期基本計画(旧)	第2期基本計画への反映(新) (赤字は計画上の修正内容)
29	チャレンジ する市役所	経営・財務マネ ジメント	<p>個々の提案の前に、行政が過去から抱えてきているたくさんの「仕事」の仕分けが、必要である。気候危機対策や、太陽光パネル設置の急増、地域コミュニティが崩壊しつつあること等、喫緊の課題も多いが、施策にある程度の予算も変化も必要であり、まずはスリム化を行うことが重要である。</p> <p>限りある予算を有効に活用すること、職員がやりがいを持って仕事に向かうことのためにも、市役所の中で、役目を終えて良さそうな取り組みの洗い出しを行い、市民を交えての対話の場を持って、結論づけていくことができるとよい。</p> <p>ファシリテーターが話し合いの場自体を「設計」した上で、話し合いの場を持てるように、変革の挑戦をしていただきたい。</p>	イ	<p>最少の経費で最大の効果を上げるため、限られた行政資産を効果的・効率的に配分し、実行する必要があります。組織・人材、経営、財務の各マネジメントが連動し、総合計画の実現を目指して各取組を推進いたします。</p> <p>また、市民等との協働により、基本理念にもある対話を重視したまちづくりを進めてまいります。</p>		
30	-	-	<p>職場の活性化を図る為、市役所地下に職員食堂を設置することと、玄関ホールへ民間委託による喫茶店を設置し、市民サービスの一環としていただきたい。</p>	ウ	<p>組織・人材マネジメントの観点からも、職場環境の改善は重要な取組であると認識しています。ご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p>		
31	-	-	<p>市内の活性化と近郊の認定農業の育成のため、道の駅の新設が必要。</p>	ウ	<p>ご意見として、今後の施策展開の参考とさせていただきます。</p>		
32	-	-	<p>パブリックコメントの提出者による、発表会を実施していただきたい。</p>	ウ	<p>今回のパブリックコメントにおいては、特段発表回答は実施いたしません。</p> <p>各取組等を実施していくにあたって、対話によるまちづくりは重要であります。様々な対話の場づくりにむけて、ご意見としていただきます。</p>		